

令和4年度 第2回理事会 議事録

日 時 令和4年9月10日（土）14：30～

場 所 北海きたえーる研修室

理事出席者 紺屋正雄、黒田謙二、渋谷研一、印藤智一、丸山道博、田中昌幸、齊藤幸治、石崎 賢、川崎尚子、笹森恭之、奥山 諭、浅野泰弘、藤原 正、千葉三郎、川口智将、田中 淳、中川裕行、沓澤幸一、山口隆義、辻井淳一、（監事）名畑五朗、（総務）明井寿枝（議事録）

リモート出席者 伊山和宏、鎌田勝広、酒出 修、志手典之、山内孝夫、奈良孝伸、須田正毅

1 開会（齊藤総務委員長）

理事36名中26名の参加があり定足数に達しており、理事会が成立していることを報告。

2 会長あいさつ（紺屋副会長）

会長欠席のため、ご挨拶申し上げます。

コロナ禍ではあるが各種事業が予定どおり行われている。

今年度も折り返しを迎えたが、課題解決に向けた各協議事項の審議をお願いする。

3 議事録署名人の選出

以降、紺屋副会長が議長となり議事進行。

議事録署名人に紺屋副会長のほか、川崎常任理事、千葉理事を指名。

4 協議事項

担当から以下のとおり説明があり承認された。

（1）各種基金及び基金活用事業の見直し（案）について（齊藤総務委員長）

基金については、現3基金を財政調整基金と強化育成基金の2基金とし、それぞれの使用目的に区分したうえで適正額を確保したうえで、基金残高を明確にしつつ、必要に応じた活用を図るよう見直す。

基金活用事業については、審判員育成事業や北海道中学生強化交歓会事業における財源確保の手法を見直すほか、基金活用事業の事業内容を適正に精査しながら、効果的な基金活用を図るよう見直す。

（質疑）

財政調整基金で使用目的別に確保する額は適正か？

⇒確保額については、一般会計予算規模や過年度事業決算、国際大会の開催減少を考慮して積算しており、適正と考えている。（齊藤総務委員長）

（2）経理管理事務の見直し（案）について（齊藤総務委員長）

経理管理事務のより一層の適正化を図るため、経理確認事務を年1回から年4回とし、年度中間期の10月に中間監査を実施する。

(質疑)

第三者によるチェック体制の整備が必要と考えるが、法人化に向けては、公認会計士等の専門機関に依頼する考えはあるか？

⇒法人化にあつては、経理管理のほか、税務処理も適正に行う必要があることから、専門家に依頼したいと考えている。(齊藤総務委員長)

(3) Vリーグチームとの業務委託契約について(印藤理事長)

ヴォレアス北海道、サフィールヴァ北海道、デンソーエアリービーズとの業務委託契約の締結に向けて協議中。

(4) 高校選手権大会北海道予選会の開催について(石崎競技委員長)

有観客実施予定で検討中であるが、観客数については、開催地協会とも協議のうえ決定する。

(5) 法人化の検討について(齊藤総務委員長)

JVAは、創立100周年に向けた「将来構想」の策定にあたり、令和8年度までに、全道府県協会の法人化を目指して、法人化されていない道府県協会をブロック単位で直接訪問する意見交換会を開催し、法人化に向けた支援内容等を検討していくとのこと。

道協会では、これを機に、法人化の議論を加速し、令和4年度中に、社団か財団かといった法人形態等の方向性を決定し、令和5年度中に関係機関に申請ができるよう法人設立準備を進め、令和7年度当初の法人設立を目指すこととし、法人設立に向けた準備に当たっては、必要な予算措置を講じたうえで、専門機関に委託して対応する。

(6) その他

国体(成年)ブロック予選会の決算において不足額が生じ、開催地協会から全国大会等助成金交付要綱に基づく交付申請書の提出があり、適当と認められることから、交付決定する。(齊藤総務委員長)

5 報告事項

(1) 日本協会関係

8月30日にJVAの灰西業務執行理事と小柴理事が来道し、創立100周年に向けてシンボル事業の実施検討について説明された。詳細は今後決定される。(印藤理事長)

(2) 各委員会

・総務委員会(齊藤総務委員長)

渥美参与のご逝去に伴い、香典・供花等を対応した。

・競技委員会(石崎競技委員長)

高校新人大会が冬季開催のため雪害を心配しており、会場選定を開催地協会と協議中。

・審判員会(川崎審判委員長)

A級審査会に、阿部義之(釧路)・尾上セナ(札幌)の2名が受講しA級候補審判員に認定された。

2021年度B級審査会実技試験を横田杯で実施する。

2022年度B級審査会は、大学秋季総合大会(旭川)で実施する。

JVAのS1レフェリーに、佐藤美里・上総向貴(共に札幌)の2名が認定され、V1の試合を担当する。

・強化委員会(奥山強化委員長)

本日JOC結団式を実施する。

国体少年男女チームが道内外のチームとの強化練習会を開催する。

・指導普及委員会（笹森指導普及委員長）

指導者資格取得の推進に係る資格取得講習会の積極的な開催等をお願いする。

「地域スポーツ団体の全国大会参加」について、佐見理事より説明された。

・加盟団体

小 連 サフィルヴァジュニアが、第42回全日本バレーボール小学生大会で全国第3位となった。

ヤング 創立10周年記念式典を11月19日に開催予定。

ソフト 創立30周年記念式典を10月9日に実施予定。

クラブ 3年ぶりにデサント杯を開催した。

チームからは、大会増設の要望を受けている。

学 連 男子学連選抜が8学連大会(名古屋)に参加。(女子は今後実施予定)

9月23日から秋季リーグを実施予定。

高 校 全国インターハイの北海道の女子参加枠は、令和5年度は、開催地枠適用となるが、令和6年度から1枠となる。

令和5年度全国インターハイは、女子が釧路市で8月1日から5日まで、男子が旭川市で8月7日から11日まで開催。

中 学 全道中学が終了した。

6 閉会

【次回理事会：12月17日（土）13：30～ 北海きたえーる研修室】

議事録署名人

副 会 長

紺 屋 正 規

議事録署名人

千 葉 三 郎

議事録署名人

川 崎 尚 子